

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

**広報**

2017  
(平成29年)

**まつざき 10**

No.641

## 「野菜大好き減塩教室」(9/7)

松崎幼稚園で、子どもたちが「松崎町健康づくり食生活推進協議会」の方々と、鰹節削りやみそ汁の調理体験をしました。



● 平成28年度 一般会計 ●

# 決算報告

総額39億8,127万円を  
このように使いました。

「魅力あるまちづくりの推進」「安心安全なまちづくり」を重点課題とし、地域資源を生かしたまちづくりや防災減災対策、教育環境の充実等に取り組みました。

## 総務費 8億6,926万円

21.8% (前年対比 +407万円)

- ・ 財政調整基金積立金 …… 1億9,042万円
- ・ 路線バス対策事業費 …… 2,628万円
- ・ 花いっぱい運動推進事業費 …… 1,985万円
- ・ まち・ひと・しごと創生事業費 …… 1,771万円
- ・ 地域おこし協力隊事業費 …… 1,295万円
- ・ 過疎地域等自立活性化推進事業費 …… 1,018万円
- ・ 地域経済活性化対策費  
(住宅リフォーム助成他) …… 973万円
- ・ 美しい村推進事業費 …… 754万円
- ・ 参議院議員選挙費 …… 677万円

## 民生費 8億4,317万円

21.3% (前年対比 △7,421万円)

- ・ 障害者自立支援給付費 …… 1億5,096万円
- ・ 後期高齢者医療事業(繰出金他) 1億4,499万円
- ・ 介護保険事業(繰出金他) …… 1億2,519万円
- ・ 国民健康保険事業(繰出金他) …… 9,959万円
- ・ 児童手当 …… 7,011万円
- ・ 保育所実施委託 …… 5,976万円
- ・ 年金生活者等支援給付金事業費 …… 3,851万円
- ・ 養護老人ホーム入所措置者委託 …… 1,917万円
- ・ 重度障害者医療費助成 …… 1,798万円
- ・ 地域福祉推進事業費  
(子育て支援祝い品他) …… 1,413万円
- ・ 臨時福祉給付金事業費 …… 702万円

## 衛生費 3億9,190万円

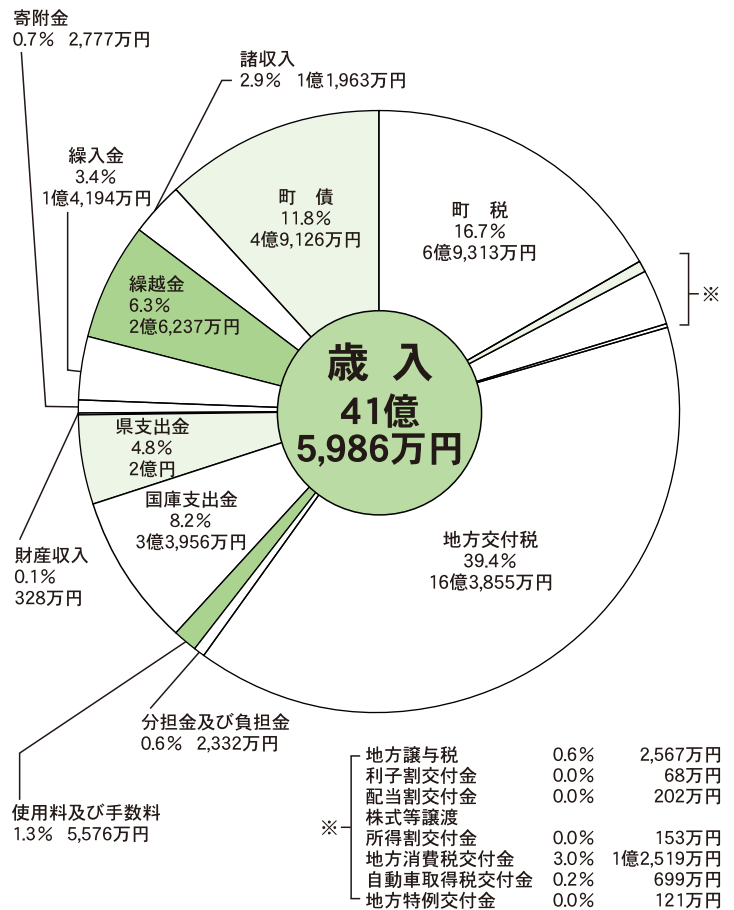
9.8% (前年対比 △2,987万円)

- ・ じん芥処理事業費  
(清掃点検業務委託他) …… 1億6,724万円
- ・ 西豆衛生プラント組合負担金 …… 8,074万円
- ・ こども医療費助成 …… 1,503万円
- ・ 老人健康対策事業費  
(がん検診事業他) …… 1,462万円
- ・ 予防事業費  
(インフルエンザ、定期・任意予防接種事業他)  
…… 1,097万円

## 農林水産業費 1億8,287万円

4.6% (前年対比 △1,777万円)

- ・ 国土調査費(地籍調査) …… 2,732万円
- ・ 農業振興事業費  
(青年就農給付金他) …… 1,594万円
- ・ 農地費  
(県営中山間地域総合整備事業他) …… 986万円
- ・ 漁港管理費(水門保守管理業務他) …… 502万円



### ◎歳入の状況

歳入決算額は、41億5986万円(前年度比2.4%増)となりました。

町税が前年度比21007万円増、町債が前年度比2億5753万円増となった一方で、地方交付税が前年度比4375万円減、国・県支出金が前年度比7921万円減、地方消費税交付金が前年度比2100万円減等となりました。

町税については、平成28年4月から発足した、賀茂地方税債権整理回収協議会による徴収強化により、国民健康保険税を除いた一般会計分の徴収率は91.0%(前年度比3.4%増)となりましたが、町債等の増により自主財源比率は31.9%で前年度比1.0%減となり、依然として自主財源の確保が課題となっております。

### ◎歳出の状況

歳出決算額は、39億8127万円(前年度比4.7%増)となりました。

經常経費の内容精査を進め、無駄な経費の削減に努める一方で、魅力あるまちづくりの推進では、地方版総合戦略に

## 公債費 2億9,593万円

7.4% (前年対比 +70万円)

- ・元金 …………… 2億6,723万円
- ・利子 …………… 2,870万円

## 教育費 6億4,443万円

16.2% (前年対比 +3億7,800万円)

- ・義務教育施設整備費  
(幼稚園建設工事他) …………… 2億9,363万円
- ・文教施設整備基金積立金 …………… 1億6万円
- ・生涯学習センター管理費 …………… 667万円
- ・遠距離児童生徒通学費補助金 …………… 579万円
- ・国際理解教育振興事業委託 …………… 505万円

## 消防費 2億1,519万円

5.4% (前年対比 △1億1,306万円)

- ・下田地区消防組合負担金 …………… 1億5,402万円
- ・消防団運営費 …………… 2,767万円
- ・災害対策費  
(災害対策用資機材整備他) …………… 2,542万円
- ・消防施設整備費 …………… 361万円

## 土木費 2億5,504万円

6.4% (前年対比 +1億2,129万円)

- ・橋梁維持費  
(水道橋架替工事他) …………… 1億480万円
- ・道路維持費(道路補修工事他) …………… 6,785万円
- ・河川維持費(河川維持工事他) …………… 987万円
- ・港湾整備費 …………… 804万円

## 議会費 4,818万円

1.2% (前年対比 △673万円)

- ・議員報酬、手当等

歳出  
39億  
8,127万円

## 商工費 2億3,530万円

5.9% (前年対比 +3,423万円)

- ・観光振興事業費  
(観光協会補助金他) …………… 1億398万円
- ・牛原山町民の森整備事業費 …………… 1,026万円
- ・商工振興事業費(商工会補助金他) …… 1,005万円
- ・ふれあい交流推進事業費  
(グリーンツーリズム推進事業) …………… 637万円

平成28年度一般会計決算性質別歳出内訳表

性質別	決算額	比率
人件費	6億4,031万円	16.1%
物件費	8億2,405万円	20.7%
維持補修費	3,463万円	0.9%
扶助費	3億9,303万円	9.9%
補助費等	5億8,735万円	14.7%
公債費	2億9,592万円	7.4%
積立金	3億627万円	7.7%
投資及び出資金貸付金	468万円	0.1%
繰出金	2億4,603万円	6.2%
普通建設事業費	6億4,900万円	16.3%
合計	39億8,127万円	100.0%

【問合せ】  
総務課(42) 3963

「日本で最も美しい村」連合フェスティバルの開催や、地域資源である桜葉について、料理コンテストやPR等を実施し、地域・産業の活性化を図りました。また、三浦地区において光ファイバ網を整備することで、情報格差の解消に努めました。

地震・津波対策では、住民が安心して避難生活ができるように備蓄食料や避難所用防災テント、防災倉庫等の災害対策用資機材を整備しました。さらに子育て支援として、子育て支援祝い品支給事業の新設、松崎幼稚園建設事業等を行いました。

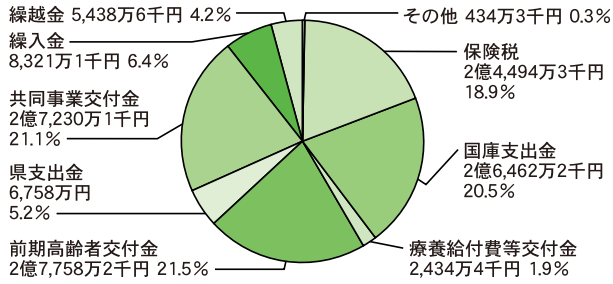
一方で、将来的な大型事業等に備え、財政調整基金1億9042万円、文教施設整備基金1億6万円を積み立てる等、計画的な財政運営に留意した予算執行を行いました。

町税等自主財源が乏しく厳しい財政状況ですが、経常経費の節減に努め、効果の期待できる事業に予算を重点配分できるよう、引き続き取り組んでまいります。

# 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険 特別会計決算の概要

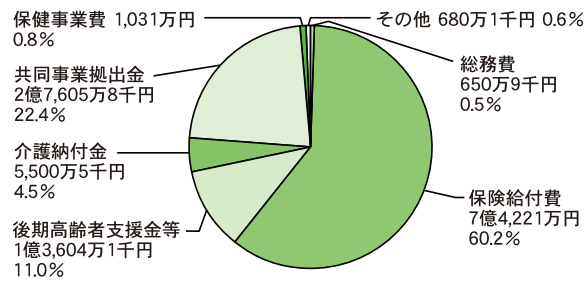
## 【特別会計決算の状況】

特別会計	被保険者数	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	2,557人	12億9,331万2千円	12億3,293万4千円	6,037万8千円
後期高齢者医療	1,662人	1億882万2千円	1億863万2千円	190千円
介護保険	3,038人	8億5,148万8千円	8億5,001万5千円	147万3千円



1人当たりの保険税 95,793円

平成28年度の国民健康保険加入者（年平均）は、2557人で、総人口に占める割合は36.9%となりました。世帯数では総世帯の50.7%となる1520世帯が加入しています。特別会計の歳入総額は12億9331万2000円（前年度比98.5%、1930万7



1人当たりの医療費 346,807円

000円の減）、歳出総額は12億3293万4000円（前年度比98.0%、2529万9000円の減）となり、歳入歳出差引額は、6037万8000円となりました。歳入では、国民健康保険税が2億4494万3000円（前年度比95.1%、1269万2000円の減）となりました。一方歳出では、保険給付費（医療費のうち町が7割等負担する分）が7億4221万円（前年度比101.5%、1105万7000円の増）となりました。

### 後期高齢者医療特別会計

平成28年度の被保険者数（年平均）は、1662人で総人口に占める割合は、24.0%となりました。特別会計の歳入総額は1億82万2000円（前年度比106.2%、635万8000円の増）、歳出総額は1億863万2000円（前年度比63万2000円（前年度比108.0%、800万2000円の増）となり歳入歳出差引額は19万円となりました。歳入では、後期高齢者医療保険料が7430万1000

保険給付費等支準備基金の状況は、260万3000円を積み立てた結果、残高は7802万7000円となりました。今後も健康意識の高揚を図るとともに、特定健診の受診を促進し、生活習慣病の発症、重症化を予防すること等で医療費の削減を目指します。また、平成30年度の制度改正により県が財政運営の責任主体となりますが、引き続き安定的な財政運営を目指していきます。

### 介護保険特別会計

平成29年3月現在、65歳以上の被保険者数は3038人、そのうち、要介護・要支援認定者数は559人で、18.4%となりました。特別会計の歳入総額は8億5148万8000円（前年度比103.0%、2507万6000円の増）、歳出総額は8億5001万5000円（前年度比105.5%、419万円の増）となり、歳入歳出差引額は147万3000円となりました。このうち、介護給付費は8億1148万6000円で、前年度比107.6%、5712万4000円の増額となりました。今後も、介護予防事業の充実により、要介護認定者の減少を目指します。

#### 【問合せ】

健康福祉課（42）3966

# 第40回花壇コンクール・第25回街角の花コンクール

## 花

壇コンクールは、花いっぱい運動の推進や住民の手によるふるさとづくりの推進、花壇づくりを通しての地域づくり、地域コミュニティの活性化を目的に行われており、今年で40回目となります。

審査は8月17日に行われ、町長をはじめ、松崎町花の会会長、さんさん松崎会長、県伊豆農業研究センター研究員、賀茂農林事務所地域振興課職員、有識者の6人で審査を行いました。



審査の様子

審査員は、応募があった18団体の花壇を1日かけて回り、取組度、努力度、創意工夫度、技術度の4項目を採点しました。参加した団体からは「今年は特に雨が少なく、花壇管理が難しかった」との声が多くありました。

表彰式は9月24日に開催された「第34回長八フェスティバル」で行われたほか、上位の団体は、県主催の「ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール」に推薦されました。

### ◆審査結果◆

#### 【最優秀賞】

浅間会（雲見）

#### 【優秀賞】

花の親睦会（小杉原）

松尾区

#### 【努力賞】

東友会（東区）

常盤会（伏倉）

楽寿花の会（南郷）

桜田フラワーメイツ（桜田）

松崎町花の会



雲見 浅間会の皆さん



最優秀賞 浅間会（雲見）



優秀賞 松尾区



優秀賞 花の親睦会（小杉原）

## 街

角の花コンクールは、団体だけでなく、個人や事業所の花壇、プラントナー等についても評価する機会を設け、花いっぱい運動のさらなる推進を図ろうと行われています。

### ◆審査結果◆

#### 【最優秀賞】

山本尚子（峰）

#### 【優秀賞】

高橋繁子（岩地）

#### 【努力賞】

齋藤セン（東区）

稲葉里き江（西区）

小笠原いね子（伏倉）



最優秀賞 山本尚子さん（峰）

### 【問合せ】

企画観光課（42）3964

# 屋外広告物のルールを守って安全で美しいまちづくり

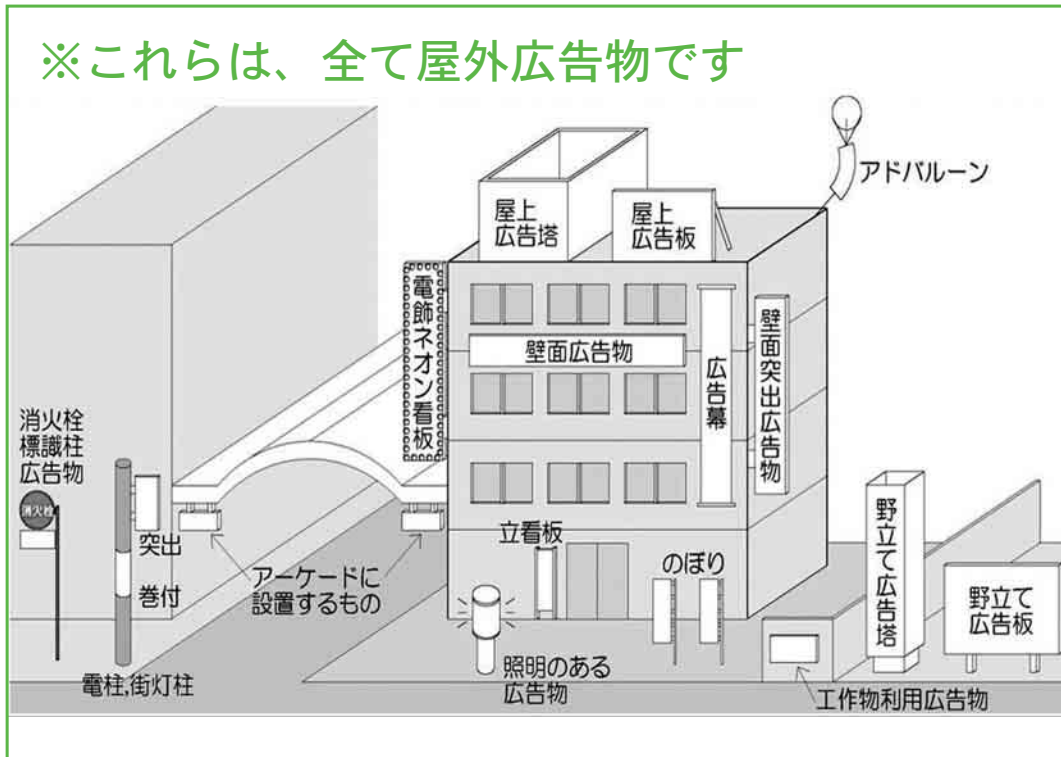
伊豆半島は、富士箱根伊豆国立公園に指定され、静岡県の中でも特に変化に富んださまざまな美しい景観に恵まれた地域です。

また、東京五輪の自転車競技の開催が決定し、世界ジオパークの認定を控える等、世界中から注目を集める大変重要な時期にきています。

そこで、東京五輪の開催時期を目標に、伊豆半島の良好な景観形成に向け、今年11月から、屋外広告物の規制を強化することとなりました。

## 屋外広告物とは

常時または一定の期間継続して屋外で公衆に表示される広告物のことをいいます。商業広告だけでなく、絵やシンボルマーク、催事の案内等も屋外広告物に含まれます。



※これらは、全て屋外広告物です

屋外広告物には設置のルールがあります

屋外広告物が無秩序に氾濫すると景観を損ない、また、適正な管理がされていないと道路交通の安全の妨げになることがあります。美しい景観の維持、公衆への危害防止のために、屋外広告物を一定の許可基準のもと規制しています。

屋外広告物の設置の際には、事前に県の許可が必要になります。

11月1日から  
規制を強化します

屋外広告物の表示を原則禁止している地域（特別規制地域）があります。ただし、大きさや色等の基準を満たせば設置することができます。

### 屋外広告物の設置基準（一部抜粋）

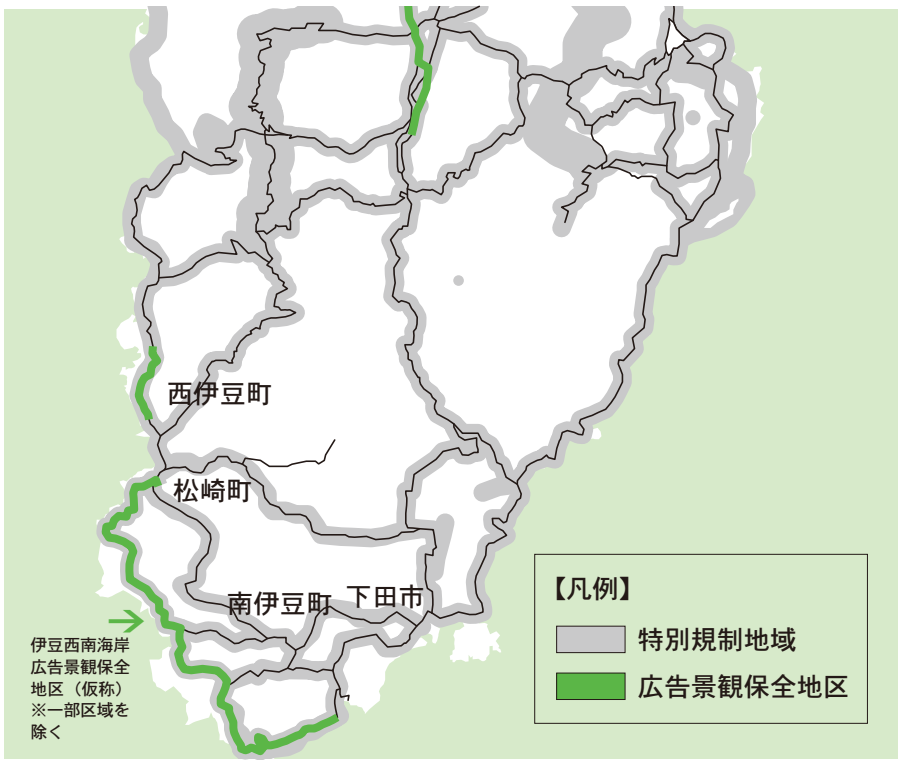
区分	特別規制地域	広告景観保全地区（案）
自家広告物 (店名等を自己所有地に設置する広告物)	(広告塔) 高さ15m以下、面積30㎡以下 (屋上広告) 建物の高さの2/3以下かつ10m以下	(広告塔) 高さ5m以下、面積5㎡以下 (屋上広告) 設置不可
案内図板 (目的地誘導用看板)	・高さ 5m以下 ・面積 片面3㎡以下	・高さ 同左 ・面積 片面1㎡以下 ・色彩 ダークブラウン

11月1日から特別規制地域の範囲を拡大します。また、これまで特別規制地域だった一部の地域で、より景観への配慮が必要な箇所について、広告景観保全地区としてより規制を強化していきます。各規制地域の範囲、設置基準等、詳しくは下田土木事務所都市

計画課までお問い合わせください。

### 松崎町の規制地域

特別規制地域はすでに指定している国道136号のほか、新たに、県道下田松崎線、県



道南伊豆松崎線を指定します。範囲は道路の両側500mとなります。

また、広告景観保全地区は、特別規制地域である国道136号の松崎町内全域を指定します。ただし、西伊豆町との町境から松崎橋(道部)左岸までの区間と、三浦地区(雲見地区、石部地区、岩地地区)の一部については、商業的な土地利用等を考慮して、広告景観保全地区から除きます。(当区間は特別規制地域になります。)

### 屋外広告物の是正指導を行っています

許可を受けていない屋外広告物や、基準に合っていない屋外広告物を設置している広告主には、是正指導を行っています。

### 【問合せ】

下田土木事務所 都市計画課  
(24)2110

## 地域おこし協力隊の活動紹介

(古屋一成隊員・山賀健司隊員)

協力隊の活動に参加してから約半年が経過しました。木工という分野で木工の技術指導・人材育成・木工塾開校のための準備を進めています。木工を通してモノづくりの拠点として松崎町が目指されること、残りの2年半での目標です。

6月に、町・松崎の仲間・伊豆学研究会・石川興業(東京都木場)の協力で、峰輪に拠点となる「松崎工房」を持つことができました。伊豆番匠会長の小川氏(伊東市)、楠木家具制作所(熱海市)、安木工工(伊豆市)、家具職人伊藤慎二郎氏(飛騨高山)の協力を得て、木工塾での指導の力リキュラム、運営等の準備を進めています。

9月末に、沼津市の職業訓練校の方からアドバイスをいただき、カリキュラムを完成して年内の開校を目指しています。

### 【問合せ】

企画観光課(42)3964



これらの事業を木工塾の力リキュラムに取り入れ、基本的な指導から実践的な指導に進めていく予定です。年内の開校に向けて課題はありますが、引き続き着々と準備を進めていきたいと思えます。

# 非常時に備えて



## ① 9月1日 総合防災訓練

「防災の日」の9月1日、町内各地で、大規模地震や津波発生を想定した訓練が行われました。

松崎町では、町内35の全ての自主防災会、関係機関等で2824人が参加しました。

各自自主防災会では、津波避難訓練、消火器・消火栓等による初期消火訓練、防災資機材等の点検、自主防本部の設置等、地域の実情に応じた訓練が行われました。

阪神・淡路大震災の際、がれきの中から救出された被災



江奈3区のNTTビルへの避難

者の7割は「家族や近所の人」によって助け出されたという調査結果もあります。また、避難所の運営も地域の皆様にごお願いしなければならぬため、災害時の自主防災会を中心とした皆様の行動、連携が大変重要です。

今回の訓練でも、地域の訓練に参加するようにしている中学生や松崎高校の生徒が、地域の方と一緒にさまざまな訓練をしている姿や、消防団員が地域の皆様に指導している様子が見られました。



山口区の消火器訓練



江奈2区の訓練で備蓄食料等を配る中高生



伏倉区の中高生による負傷者搬送訓練

先日、南海トラフ沿いの地震の防災対応を検討してきた国の作業部会が、「東海地震の直前予知はできない」との内容を含めた報告書案を大筋了承したとの報道がありました。

突然の地震は、誰もがパニックになりやすく、冷静な判断や行動が取れないことが考えられます。自分の命を守るた

めには、初期行動となる避難行動が、考えなくても体が自然に動くように訓練を重ねるしかありません。

町の統一訓練だけではなく、月に1回程度、非常持出品の確認や家の中だけでも避難行動の確認を行うようにしましょう。

また、逃げるためには、家具の固定も重要です。もう一度危険な場所がないか確認を行い、災害に備えましょう。

## ② 「避難行動要支援者支援制度」を始めました！

### ◎ 「避難行動要支援者支援制度」とは？

町では災害が発生した時に、自分や家族等だけでは避難が困難で、何らかの助けを必要とする重度の障害者やひとり暮らし高齢者等の「避難行動要支援者」を支援する制度を始めました。

これは災害時の安否確認や避難支援を円滑に行えるよう、地域の中での支援体制を整えることを目的としたものです。

### ◎ 名簿登録の対象者は？

町内に在住し、災害が発生したときに、次のいずれかに

災害が発生した時に支援が必要な方は、届け出に基づき、町の「避難行動要支援者名簿」に登録し、その名簿から氏名等の情報をお住まいの地域の自主防災会（区）の代表者や民生委員、「避難支援者」に提供して、日頃の見守りや災害時の支援体制を整えるために活用することになります。



池代区の資機材の点検

【問合せ】  
総務課（42） 3963



＜避難行動要支援者の「対象者」＞

- ①要介護認定の介護度が、要介護3～5の方
- ②身体障害者手帳の障害の程度が1級または2級の方
- ③療育手帳の障害の程度がAの方
- ④精神障害者保健福祉手帳の障害の程度が1級の方
- ⑤75歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯で、いずれもが要支援・要介護の認定を受けている方
- ⑥その他、①から⑤までに準ずる状態にあり、支援が必要と認められる方

該当する避難行動要支援者を対象とします。  
 ただし、福祉施設や病院等に入所・入院している方については、各施設・病院で避難対応を行うため、対象外となります。  
**◎登録を希望する方は？**  
**(1)名簿登録届出書兼同意書の提出が必要でず**  
 名簿には、個人情報に記載されるため、本人の同意が必要となります。

(2)避難支援者の選定

避難支援者は、最低1人とし、避難行動要支援者ご本人による推薦、またはご近所の方々等にお問い合わせすることになります。

**避難支援者について**  
 普段からの見守りや災害時に情報を伝えたり、避難の手助けや安否の確認等の支援に心がけていた、たく方です。できる範囲での支援をするもので、支援活動について法的な責任や義務を負うものではありません。

◎届出書兼同意書の提出

上記①から⑤までの方には、役場から郵送でご案内しますので、登録を希望される方は同封の届出書兼同意書を返送してください。  
 上記⑥の方は、役場健康福祉課から届出書兼同意書を受け取り、提出することができます。

**【問合せ】**  
 健康福祉課（42） 3966

# 財政健全化判断比率の公表

財政健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、自治体の財政破たんを未然に防ぐことを目的として、自治体の会計である一般会計、特別会計（企業会計を含む）等の自治体の財政状況を明らかにするため、毎年度の決算時に算定する「健全化判断比率」および「資金不足比率」のことをいいます。

○「健全化判断比率」とは、次の4つの比率をいいます。

- ・実質赤字比率
  - ・連結実質赤字比率
  - ・実質公債費比率
  - ・将来負担比率
- 健全化判断比率（公営企業は「資金不足比率」では、財政の危険信号を示す『早期健全化基準』（公営企業は「経営健全化基準」と財政破たん状態（会社でいう「倒産」）を示す『財政再生基準』があり、比率が基準以上になると、財

(財政健全化判断比率)

健全化指標	松崎町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	- (-)	20.0%	40.0%
実質公債費比率	2.4% (3.1%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	- (-)	350.0%	なし

※実質赤字比率、連結実質赤字比率の「-」は黒字の意味。  
 ※将来負担比率の「-」は、数値がマイナスで健全性が保たれていることを示します。  
 ※（ ）内は前年の比率。

政再生に取り組まなければならない。

(公営企業に係る資金不足比率)

特別会計名	松崎町の比率	経営健全化基準	財政再生基準
水道事業会計	- (-)	20.0%	なし
温泉事業会計	- (-)		
伊豆まつざき荘会計	- (-)		
岩地集落排水事業特別会計	- (-)		
石部集落排水事業特別会計	- (-)		
雲見集落排水事業特別会計	- (-)		

※「-」は黒字の意味で、（ ）内は前年の比率。

健全化法での基準を下回っており、平成27年度決算に引き続いて財政の健全性を確保しています。  
 しかし、町の収入のうち町税等自主財源の占める割合は3割台で、県内でも最低水準となつています。自治体の財政状況は、さまざまな要因により比較・分析する必要がありますので、今後、この法を含まれたあらゆる方法・分析により、健全財政の推進に努めます。

**【問合せ】**  
 総務課（42） 3963

# 交通安全ポスターコンクール

小・中学生の夏休み課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が8月31日に行われました。

このコンクールは、交通安全ポスターを作製することにより、家族ぐるみで交通安全意識を高めてもらうことを目的に開催されています。

今回は、268点の応募があり、町長、交通安全対策委員、美術担当教諭等により審査が行われました。

各部門の入賞者は次のとおりです。

- 小学生低学年(1・2年)の部  
 最優秀賞 土屋色葉(2年)  
 優秀賞 高橋 渚(1年)  
 佳作 松原明希(1年)  
 石田 葵(2年)  
 関 太輝(2年)  
 勝呂悠月(1年)
- 小学生中学年(3・4年)の部  
 最優秀賞 八木花香里(4年)  
 最優秀賞 鈴木幸奈(3年)  
 優秀賞 松本寛太(4年)  
 佳作 奥村海夢(4年)  
 大和峻太郎(4年)  
 吉長 楽翔(4年)

- 小学生高学年(5・6年)の部  
 最優秀賞 岡村騎士(5年)  
 優秀賞 後藤妃南(6年)  
 山崎 李音(6年)  
 山本悠月(6年)  
 稲葉花奏(6年)  
 岡村真人(5年)
- 中学生の部  
 最優秀賞 小木曾由将(1年)  
 優秀賞 梅木涼太(1年)  
 山田 史希(1年)  
 北島 杏結(1年)  
 久住 華(1年)  
 土屋 渚(1年)

## 小学生低学年の部

最優秀賞



2年 土屋色葉さん (宮内)



【評】大胆に表現されており、力強く、インパクトがある。

## 小学生中学年の部

最優秀賞



4年 八木花香里さん (江奈3)



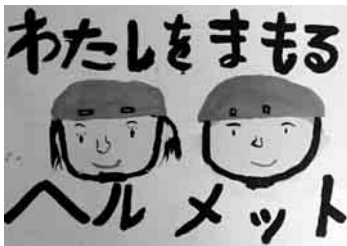
【評】色調が明快で作品に立体感を生んでいる。

## 小学生中学年の部

最優秀賞



3年 鈴木幸奈さん (南区)



【評】標語がわかりやすく、子供らしい表情をしている。

## 小学生高学年の部

最優秀賞



5年 岡村騎士さん (道部)



【評】標語を中心に置き、その周りに絵を描くという構図が工夫されている。

## 中学生の部

最優秀賞



1年 小木曾由将さん (北区)



【評】発想がユニークで、表情の付け方がうまい。標語の表現方法もうまい。  
 【問合せ】総務課(42) 3963

# 税金の滞納整理を徹底強化します

納付できない事情のある方は、お早めにご相談ください

## ◎賀茂地方税債権整理回収協議会

### 『特別滞納整理チーム』の設置期間延長を合意

賀茂地方税債権整理回収協議会『特別滞納整理チーム』

は、税の公平性を確保するため、徹底した滞納整理を行う組織として、静岡県と賀茂地域6市町が共同して昨年4月に発足しました。

当町には、約700人の滞納者がいますが、これまでに、滞納者の預貯金や給与、生命保険の契約状況等、財産の調査を5000件以上行っており、発見した財産の差押えは約1000件で、1700万円以上を滞納税に換価してきました。また、延べ2000件を超える納税催告や約70件の分割納付相談を行ってき

ました。

こうした滞納整理の強化により、国民健康保険税を含めた町税全体の収納率は、平成27年度末の85・5%に対し、平成28年度末は、89・6%と4・1%向上しました。

この協議会は、当初2年間の期間限定で設置したのですが、全市町において組織体制の強化や収納率の向上等、一定の成果が出ているものの、収納率においては、いまだ県平均を大きく下回っている等、道半ばという状況になっています。

このため、賀茂地域6市町と静岡県は、この取り組みの

所期の目的を達成するため、設置期間を2年間延長することを合意し、更なる徴収体制の強化を図ることとしました。

税金は納期限内の一括納付が原則です。滞納にならないよう納期限までに納付してください。



#### 【問合せ】

窓口税務課（42） 3968

## ◎11月～12月は滞納整理強化月間

税金は、まちづくりを支える大切な財源です。

多くの方が、決められた納期限までに自主的に納付していますが、残念ながらさまざまな理由で滞納している方もいます。平成28年度末までに積み重なった滞納税額は、町税全体で9300万円を超えています。

こうした中、県内の全市町は、静岡県と連携して、きちんと納税している方との公平性を確保するため、11月から12月までの2カ月間を『滞納整理強化月間』に設定して徴収を強化します。

町では、この期間中、賀茂地方税債権整理回収協議会『特別滞納整理チーム』と共同して、催告書の送付により自主納付を促すとともに、預貯金や給与、生命保険等の差押えについても強化します。

また、静岡県下田財務事務所でも、県税（自動車税、個人事業税、不動産取得税等）の滞納者に対して同様の取組を実施します。

納付できない事情のある方は、お早めに相談ください。

#### 【問合せ】

窓口税務課（42） 3968  
下田財務事務所納税課（24） 2019

# My Town Topics ～まちのできごと～



## 第18回全国漆喰鍍絵コンクール審査

9月5日、全国18都県から56点の応募をいただいた「漆喰鍍絵コンクール」の審査を行いました。今年のも優秀賞には、中村一夫さん（中村）の作品が選ばれました。



## 第18回伊豆半島太鼓フェスティバル

9月9日、松崎海岸で、「第18回伊豆半島太鼓フェスティバル」が開催され、約3,000人が来場し、4団体の勇壮な太鼓に聞き入りました。



## 伊豆松崎ファンSUPイベント2017

9月9～10日、SUP体験やツーリング、レース等をプログラムに、「伊豆松崎ファンSUPイベント2017」が開催されました。県内外の106人が、松崎の海を楽しみました。



## 敬老の日のお祝い

9月上旬から中旬にかけて、各地区で「敬老会」が開催されました。町内で75歳以上の敬老会対象者は1,748人で、写真の江奈地区は、61人が参加しました。

このような中、きれいに花を咲かせ、良好な状態に保っていただいた皆様のご苦勞に敬意を表します。

松崎町は、昭和53年から「花とロマンのふる里づくり」を掲げ、町民の皆様が主体となったまちづくりを推進してきました。

## 町長室からこんにちは ⑨4

松崎町長  
齋藤 文彦

先日の報道では、静岡県が「花と緑の庭園県」を目指し、緑化推進計画を策定することが報じられました。こうした県の取り組みを追い風に、松崎町全体を緑の公園にし、「平成の花とロマンのふる里づくり」をより一層推進していきたいと考えています。

8月17日に、第40回花壇コンクール・第25回街角の花コンクールの審査会を開催しました。

今年度の花壇コンクールには、18団体、街角の花コンクールには9人の申し込みがあり、1日かけて全花壇の審査を行いました。

このコンクールは、毎年、夏の暑さが最も厳しく最も花の管理が難しい時季に実施していますが、今年特に雨が少なく、例年以上に管理が難しかったと思います。

この取り組みを地域内外で共有し、小さくても光り輝くまちづくりをするために「日本で最も美しい村」連合に加盟し、活動しています。

た。こうした先人が培ったまちづくりを継承し発展させるため、松崎らしい田舎づくり、人づくり、少子高齢化を土台としたコミュニケーションづくりを推進しています。

町を「緑の公園」にしよう

# 「生きがい」を大切に生きる

稲葉 壽美子 さん（江奈）

## キラリ、輝き人 No.34

稲葉さんは、この10月の誕生日で98歳になります。長年、編み物や人形の洋服作り等、さまざまな手作業を続けてきました。

約20年前、ひ孫が生まれ、食事等のときに困らないように、また、自分も膝が痛くなってきたこと

をきつかけに、牛乳パックを芯にした「座椅子作り」を始めました。座椅子は、牛乳パックで三角形の筒を24個作って束ねて補強し、段ボールで上下を塞ぎ、布で覆います。



▶「座椅子」を制作する稲葉さん



▲「蔵ら」での座椅子完成お披露目会の様子

### Profile

いなば すみこ さん

大正8年に西伊豆町に生まれ、松崎町に嫁いできました。カラオケや大正琴、踊り等の芸能が趣味です。食べたいものは自分で作り、毎日、その日の支出の計算もしています。

これまでに1000個以上が完成し、5、6年前からは、松崎町や西伊豆町内の福祉センター等にも寄贈しています。最近、娘さんが材料の買い出しや、完成品の配達をしてくれるそうです。

最近の活動について聞くと、「最近では体調をみながら、

座椅子を中心に制作していません。暇な時間が続くのは辛く、座って手を動かしながら作業をしているときは生きがいです」と話してくれました。

7、8月には、「蔵ら」で座椅子作りの教室を開き、町内外の12人に作り方を指導しました。

今後に向けては、「暇でテレビを見ているだけでは辛いので、手を動かす時間を持ち続けられたらと思います。家族の世話にならないように、たまには病院への移動は歩いて行って体を動かす等、体に合わせて加減をしながら生活していきたいと思っています。また、体と一日一日を大切に、毎日を一生懸命生きていきたいです」と話してくれました。

長生きの秘訣を聞くと、「身の丈にあった生活を送ることでしょうか。でも実際は、身の丈以上のことをやってきたような気がします」と話してくれました。積極的に「生きる」ことが、長生きにつながるのかもしれない。

## 地域交流通信

松本市安曇地区から

### 風穴の里

#### 天然の冷蔵庫

松本市と岐阜県高山市を結ぶ国道沿いに多くのドライバ―が立ち寄り、休憩スポットとして利用している赤いトンがり屋根「道の駅 風穴の里」があります。この稲核地区には昔から岩の隙間から地下水で冷やされた冷たい風が吹き出す「風穴」が多数あり、天然の冷蔵庫として食品保存に使われていた、と伝えられています。斜面の石の隙間より吹き出す冷気は、夏季でも8℃と予想以上の涼しさにびっくりします。

1861年頃、前田喜三郎氏が蚕種（蚕の卵）を冷蔵して孵化の時期を遅らせ餌とな

る桑の葉が多くある時期や農閑期に合わせて飼育できる事を発見し、明治期に養蚕が盛んになると、全国から蚕種の冷蔵貯蔵にと委託が殺到。明治40年にいち早く郵便局が開設され、稲核地区は全国生産の約6割の蚕種を保存する「風穴業」で栄えたそうです。現在も使われている風穴では、漬物、苗木等の保存に利用されています。

平成10年に道の駅に認定された「風穴の里」の近くに、戦後、営林署が建てたものを稲核町会が見学できる「風穴」として平成20年に再建しました。近年、松本地域の酒蔵が新酒の貯蔵に利用しています。ぜひ、「風穴」を実感していただきたいと思います。



▲ 小型の風穴が点在



▲ 稲核町会所有の見学用風穴

町の人口と世帯

(平成29年8月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	6,876人	(-5人)
男	3,268人	(-4人)
女	3,608人	(-1人)
世帯数	3,004戸	(-1戸)
転入	16人	転出 14人
出生	2人	死亡 9人

(8月届出分)  
戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
宮内	陽史	男	土屋智揮
明伏	璃奈	女	長島敏彦

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
八木山	土屋元男	90	たけ子
小杉原	鈴木千代子	90	宏
南郷	山本友美	54	健治
建久寺	木野京子	71	玄之介
南郷	小林利久	70	さおり
江奈1	関弘之	82	寿男
吉田	齋藤三生代	90	幸雄
江奈3	八木きみ枝	81	豊島瑞人
指川	菊池文雄	86	磯恵

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成29年8月発生分

( )内は前年同月比

人身事故	2件	(+1)
物損事故	28件	(+1)
死者	0人	(±0)
傷者	2人	(+1)



山本 美葵ちゃん  
(石部)



石川 凜子ちゃん  
(那賀)



吉長 平太くん  
(江奈1)



佐久間 凜ちゃん  
(宮内)

【問合せ】健康福祉課(42) 3966  
※このコーナーは偶数月に掲載します。

ピカピカ  
キッズ



3歳児健診で「虫歯」が  
なかったお子さんを  
紹介します。

まつざきマイドリーム2017発表会

町内に住む子どもたちが、日常生活の中で町を元気にするために感じたこと等の発表をします。子どもたちの意見を多くの方に聞いていただきたいと思いますので、ぜひご来場ください。

- 【開催日時】 10月21日(土) 9:30～11:30
- 【会場】 環境改善センター 文化ホール
- 【発表者】 小学校5年生～高校生 12人
- 【その他】 駐車場は、町営中瀬駐車場をご利用ください。(3時間無料)
- 【問合せ】 教育委員会(42)3971



松崎文芸

— 短歌 —

一つ一つこなしでゆかねば仕方なし  
急がばまはれを言ひきかせつつ  
竹皮に梅干しをはさみしやぶりたり  
子らにも作りてやりたる思ひ出  
花がらと花びら少し残る木に  
柔らかなさうな新芽のみえる  
いちめんに霧におほはれたる峠道  
先行くライトを頼りに走る  
あぢさるの花を見てるて湧く  
買つてみようか金平糖

岡村 芳子  
細田 光代  
杉山 安紀子  
土屋 君子  
高橋 美奈子